

# 週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

## 2025 年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、  
御言葉を聞いて悟る人」  
(マタイによる福音書 13 章 23 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時  
祈 祷 会 各水曜日

○昼の聖書研究祈禱会  
(第3・午後2時)

●夕の祈禱会  
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

協力牧師 堂 本 陽 子

協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

# 3163 2025 年 6 月 15 日

## 礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第2主日・「三位一体主日」)

司式者 井 殿 準

奏楽者 菊 池 洋 子

|                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 前 奏                               | 奏 楽 者 |
| 招 詞 詩編 113:1b～3                   | 司 式 者 |
| 讃 美 歌 351 「聖なる聖なる」                | 一 同   |
| 聖 書 エフェソ 1:3～14 (新 P. 352)        | 司 式 者 |
| 使徒信条 (93-4-A)                     | 一 同   |
| 祈 祷                               | 司 式 者 |
| 讃 美 歌 53 「神のみ言葉は」                 | 一 同   |
| 説 教 「私たちの存在理由」                    | 司 式 者 |
| 祈 祷                               | 〃     |
| 讃 美 歌 406 「聖霊ゆたかに」                | 一 同   |
| 献 金                               | 〃     |
| 主の祈り (93-5-A)                     | 〃     |
| 頌 栄 28 「み栄えあれや」                   | 〃     |
| 祝 祷                               | 司 式 者 |
| 答 唱 40-6 「アーメン」                   | 一 同   |
| ～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～ |       |
| 報 告                               | 司 式 者 |
| 讃 美 歌 92 「主よ、わたしたちの主よ」            | 一 同   |

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「思いを一つにしてください」

(使徒言行録 2:1～11)

聖霊を注がれた弟子たちは、様々な国の言葉で「神の偉大な業」を語り出した。「偉大な業」と言っても、彼らは単に神の偉大さを語ったのではない。聖霊に満たされた彼らは、神が偉大な業を通して、ご自身の愛を示されたことを語り出した。そして、聖霊が彼らの言葉に命を宿らせ、福音は世に広まって行った。

我々が主イエスの出来事を周囲に証しして行くためには聖霊の助けが不可欠である。では、聖霊を受けるために必要なものとは何だろうか？ 弟子たちは聖霊を受けた時に何をしていたのだろうか？

聖霊が降った時、弟子たちは「一つになって集まっていた」(1 節)。教会には様々な人が集まって来る。年齢も性別も社会的な立場も、能力も財力も腕力も信仰歴も様々で、考え方も好きなことも皆違っている。しかし、我々は、自らが破れ多い罪人であるという点、それでも神に愛され、赦された罪人であるという点において、皆同じである。また、「罪多きわたしのことを愛してくださる方がいる」という喜びにおいて、我々是一つと言えよう。

聖霊は、弟子たちが主イエスを裏切り、自分の弱さと醜さを痛感させられるという思いにおいて一つとなり、祈っていたところに降った。それ故、我々も、敗れ多い罪人であるが、神より独り子を与えられるほどに愛され、命を日々支えられていること、「あなたは尊い私の宝物だ」と語りかけられ、日々励まされているお互いである点において一つ思いとなって、祈りを合わせ、いよいよ聖霊の力に満たされたい。

弟子たちは、聖霊の力を身に帯びて、神の偉大な業、キリストの出来事を語り出して行った。そのことを語りつつ、彼らが人々に伝えたかったのは、赦されている喜び、愛されている喜び、救われた喜びにほかならない。我々が聖霊の力をいただいて語りだすのも、それと同じだ。いよいよ赦された喜び、愛されている喜びを語って、教会を築いて行く者とされるために、これからもここで、こんな我々のことも愛してくださる神への感謝と献身の思いにおいて一つとなって、聖霊の力をいただきながら歩んで行こう。